



LIXIL 小ネタ情報！！

キッチン セラミックワークトップ編

今までのワークトップの主流 ステンレス・人造大理石

ステンレス

- ・熱に強い
- ・比較的安価
- ・汚れが染みこみにくい
- 頑固な汚れに弱い



人造大理石

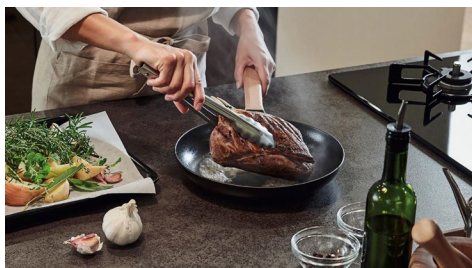
- ・インテリア性が高い
- ・軽いキズは研磨で消せる
- ・汚れが染みこみにくい
- 頑固な汚れに弱い



頑固な汚れは、ナイロンたわし（研磨粒子有）を使いたいけど傷つくからステンレス・人造大理石どちらも推奨されていないんだね

新たなワークトップ セラミックワークトップ

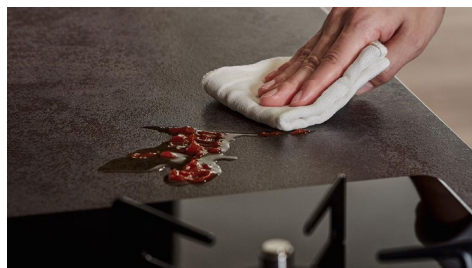
熱に強い



キズに強い



汚れに強い



膨大な数のタイルとテラコッタで装飾された、帝国ホテル旧本館。

LIXILがなぜセラミックに着目したか、それは『LIXILの技術を使った新商品を開発したい』という開発者の強い思いがあったからなんじゃLIXILの前身の1つであるINAXは、日本の六古窯のひとつ常滑焼の窯元で大正12年に竣工した「帝国ホテル日本館」の外装タイルを創ったりしてたんじゃ。その焼物技術を、LIXILに受継いでるんじゃよ



セラミックワークトップは、ステンレス・人造大理石の良い所取り！焼物で強度も強いから、ナイロンたわし※も使っていいんだね

※ラパートープ色は、表面の光沢が損なわれる可能性があるため、推奨しません。